

第五 昭和十三年末

一、敵ハ武漢及広東ノ喪失ニヨリ政治的將ニ經濟的ニハ既ニ單一地方政權ハ轉落シツ、アリト雖モ蔣政權ハ尙未ダ迷夢醒メズ西辺教省ニ殘存シテ戰力、回復ニ免メ補給路ヲ建設シ又ハ補給港ヲ佛印ニ求メ依然執拗ナル抗爭ヲ行ヒ以テ頽勢、挽回ヲ策スルモノト判断セララル。二、對支持久戰爭、本質ニ鑑ミ徒ラニ奧地進攻ノミヲ續行スルハ敵、消耗戰略ニ乘ゼラル、虞大ニシテ有利ナラザルバク他方進行作戰ノ結

0371

果多クノ兵力ヲ抽出セラレタル我占據地内都
ノ治安ハ特ニ中共黨軍ノ迅速強力ナル浸透ニ
ヨリ急激ニ悪化シツ、アルヲ以テ此ノ際占據
地域ノ確保安全ヲ圖ルノ要緊切ナルモノアリ。
三、然レ共壓縮セラレタル蔣政權ト雖モ之ヲ放置
スルニ於テハ重大ナル禍根トナリテ後害ヲ末
スベキヲ以テ適宜之ガ崩壊ノ為、諸工作ヲ進
ムル一方之ガ支援トシテ一部ノ作戰ヲ要スル
コトマルベシ。